

Title	販売金融業における信用評価の分析
Sub Title	
Author	河邊精一 村井俊雄
Publisher	慶應義塾大学大学院経営管理研究科
Publication year	1983
Jtitle	
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	修士学位論文. 1983年度経営学 第266号 複写許諾が必要
Genre	Thesis or Dissertation
URL	<a href="https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO40003001-00001983-0266">https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO40003001-00001983-0266</a>

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the Keio Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

学生氏名	河 邊 精 一	主査	村 井 俊 雄
	(いすゞ販売金融株式会社)	副査	柳 原 一 夫
所属ゼミナール	鈴 木 貞 彦 研		鈴 木 貞 彦

## 販売金融業における信用評価の分析

リース、ファクタリング、販売金融などの金融業において、最近、業界の急激な成長とともに競争が激化してきた。今後、これらの業界では、金利面での競争が激しくなるものと予想される。そうしたとき、リスクとの兼ね合いで、どの程度まで金利をダンピング出来るかが成功の鍵であり、その為には、企業の信用評価を的確に行うことが必要不可欠である。ところが、今までの企業の信用評価の研究は、中堅以上の企業を対象としたものが大半であり、しかもかなり詳細な財務情報の分析によるものである。しかしながら、これらのサービスを利用する企業は中小企業が中心で、またそのために財務情報の取得には限りがある。そこで、本研究では、クレジットの分野で古くから言われている *c's of credit* の概念に沿って仮説を構築し、それを検証するとともに中小企業の信用評価に有効なシステムを開発して行く。5つのCで表される仮説にはそれぞれ幾つかの対応する測定可能な変数が割り当てられ、仮説ごとにパッケージ化しての検証が行われた。仮説の検証に当たっては、販売金融会社からのデータが用いられた。次にそこで使われた変数全体の中から、最も信用評価に有効な変数の選択を行う為に、ステップワイズ重回帰分析が行われた。最後に、そこで有効とされた変数をもとにロジット・モデルが作成された。最終的に、ロジット・モデルが用いた理由は、信用供与先の企業のリスクを確率で表すことにより、リスクに応じたレート付けが可能となり、またリスクをレートでカバーするとともに優良顧客にたいしては低いレートによる差別化が出来ると考えた為である。